



2022年12月期 決算短信補足資料

2023年2月1日

株式会社正興電機製作所

(証券コード：6653)

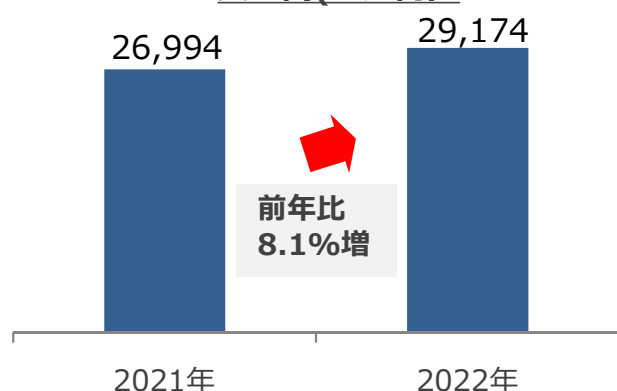
1. 2022年12月期 決算ハイライト

サプライチェーンの混乱や中国のコロナ対策による活動制限の影響で、環境エネルギー部門は低調となるも、電力部門、情報部門、その他部門の電子制御機器分野が堅調に推移し、連結業績は増収増益となる。

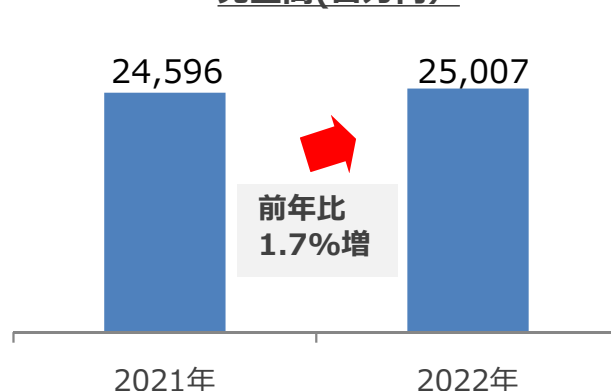
単位：百万円

	2021年 12月期	2022年 12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	26,994	29,174	2,180	8.1%
売上高	24,596	25,007	410	1.7%
営業利益	1,406	1,440	34	2.5%
経常利益	1,540	1,612	72	4.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,056	1,082	26	2.5%

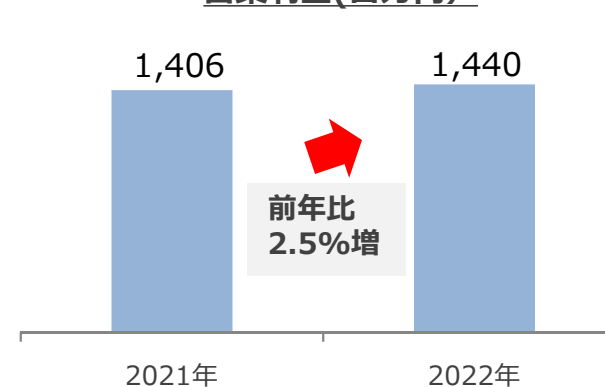
受注高(百万円)



売上高(百万円)



営業利益(百万円)



2. 営業利益の増減要因

■ 営業利益増加要因

■ 営業利益減少要因

I T（情報技術）を活用した情報制御システム、発電・変電所向け受配電・制御装置や配電機器製品などが堅調に推移。また、生産効率向上や原価低減の取組みなどにより増益。

港湾・ヘルスケアサービスや受託開発が堅調。

デジタル関連の売上が減少し利益率が低下。

制御機器製品の売上増加。発電・変電所向け工事案件も堅調に推移。

電力部門

+65百万円

環境エネルギー部門

△76百万円

情報部門

△7百万円

サービス部門

△74百万円

その他

+127百万円

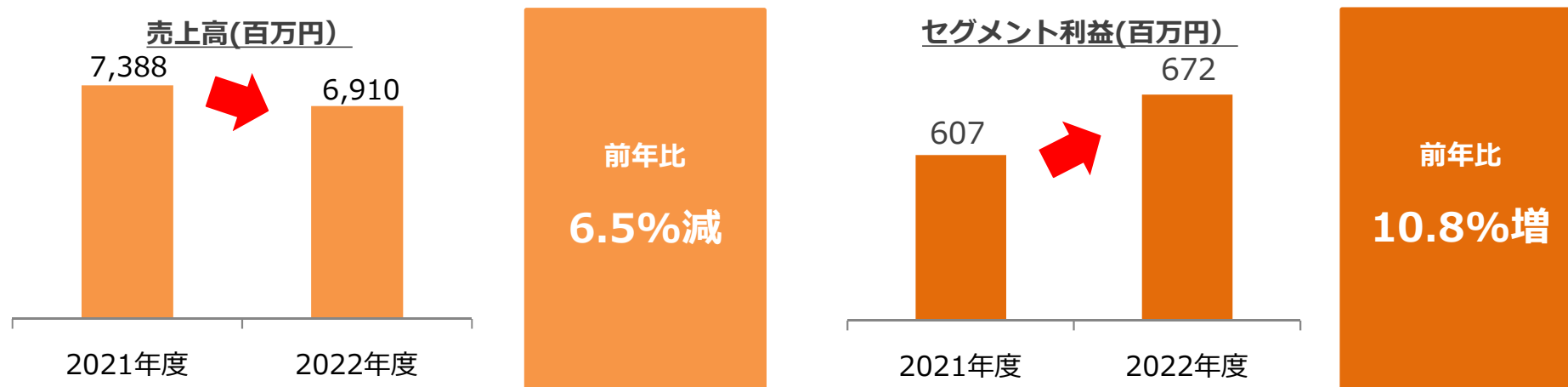
2021年12月期
営業利益
1,406百万円

サプライチェーンの混乱による電子部品など外部調達材料の入荷遅れが生じ、生産計画や現地工事が停滞したことに加え、材料価格の高騰、中国でのコロナ政策による活動制限などが影響。

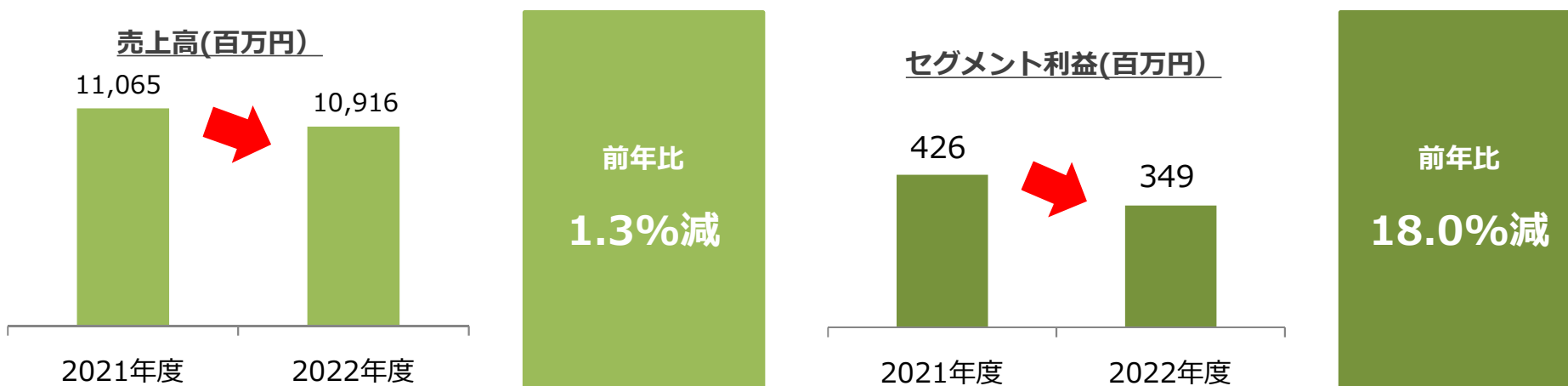
2022年12月期
営業利益
1,440百万円
(前期比 2.5%増)

3. セグメント別業績 ①

<電力部門> IT（情報技術）を活用した情報制御システム、発電・変電所向け受配電・制御装置や配電機器製品などが堅調に推移したものの、OT（制御・運用技術）関連が減少。利益は生産効率向上や原価低減の取組みなどにより増益となる。



<環境エネルギー部門> 国内公共分野において、サプライチェーンの混乱による電子部品など外部調達材料の入荷遅れが生じ、生産計画や現地工事が停滞したことに加え、材料価格の高騰、中国でのコロナ政策による活動制限などが影響し、減収減益となる。

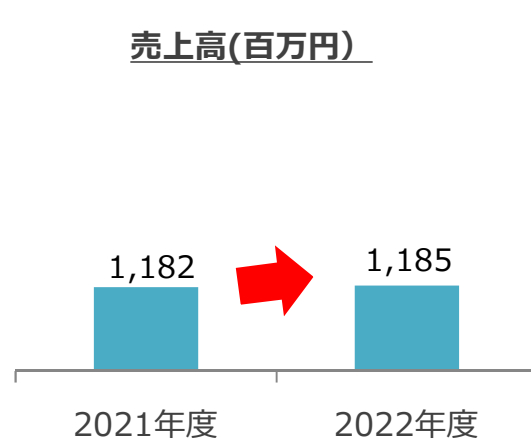


3. セグメント別業績 ②

<情報部門>

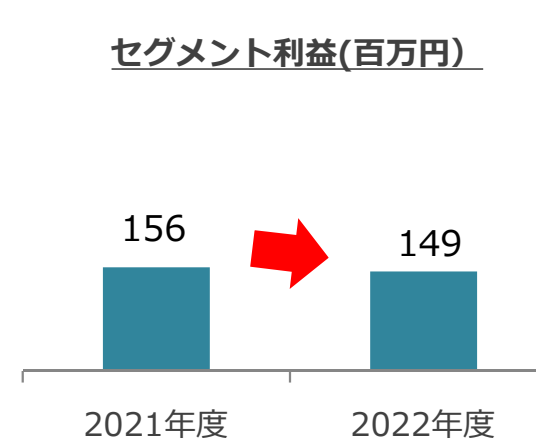
港湾、ヘルスケア向けなどのサービス事業や、国内およびフィリピンでのシステム開発が堅調に推移し、前期と同等となる。

売上高(百万円)



前年比
0.3%増

セグメント利益(百万円)

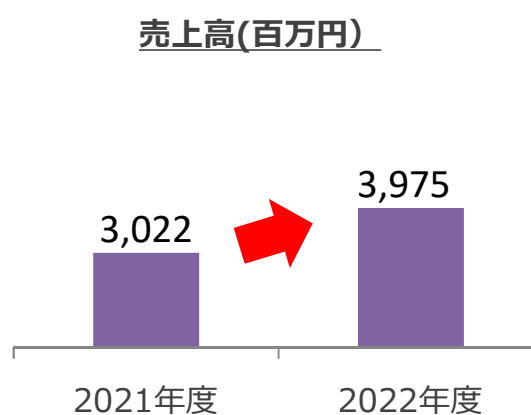


前年比
4.5%減

<サービス部門>

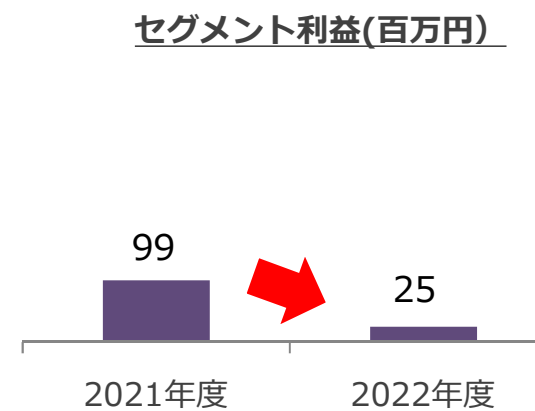
太陽光発電設備関連製品の大口案件が増加するも、デジタル関連の売上が減少。利益率が低下し、減益となる。

売上高(百万円)



前年比
31.5%増

セグメント利益(百万円)

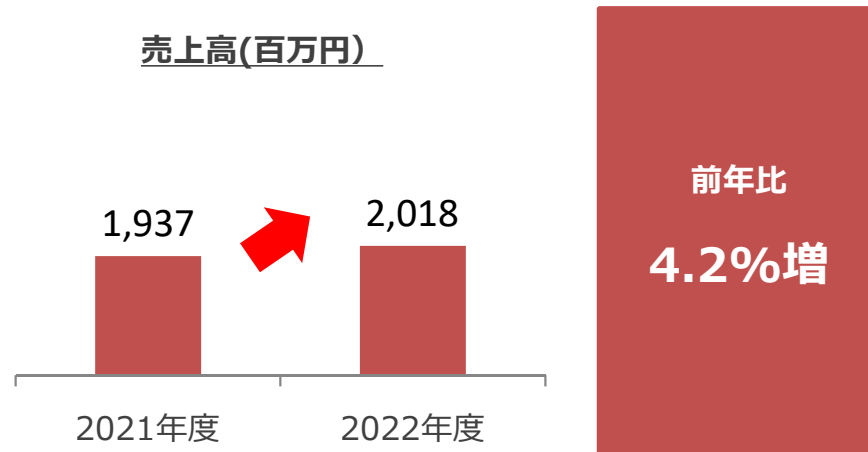


前年比
75.0%減

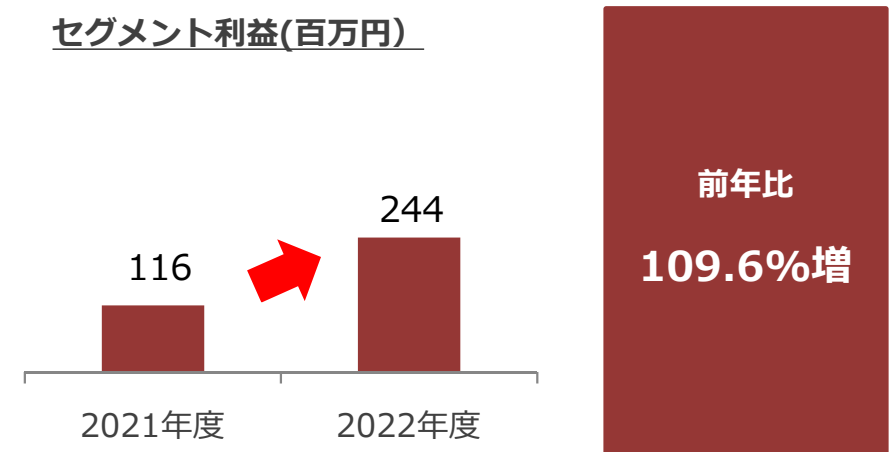
3. セグメント別業績 ③

<その他> 発電・変電所向け工事案件が堅調に推移したことや、制御機器関連製品の受注増加と販売価格の見直しにより、増収増益となる。

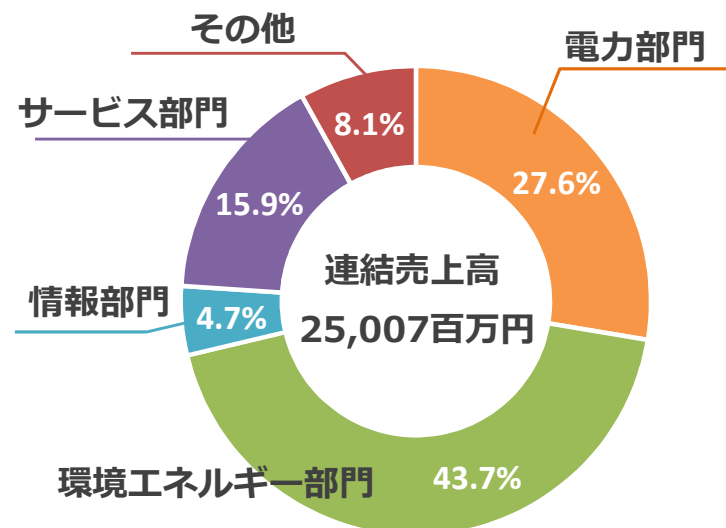
売上高(百万円)



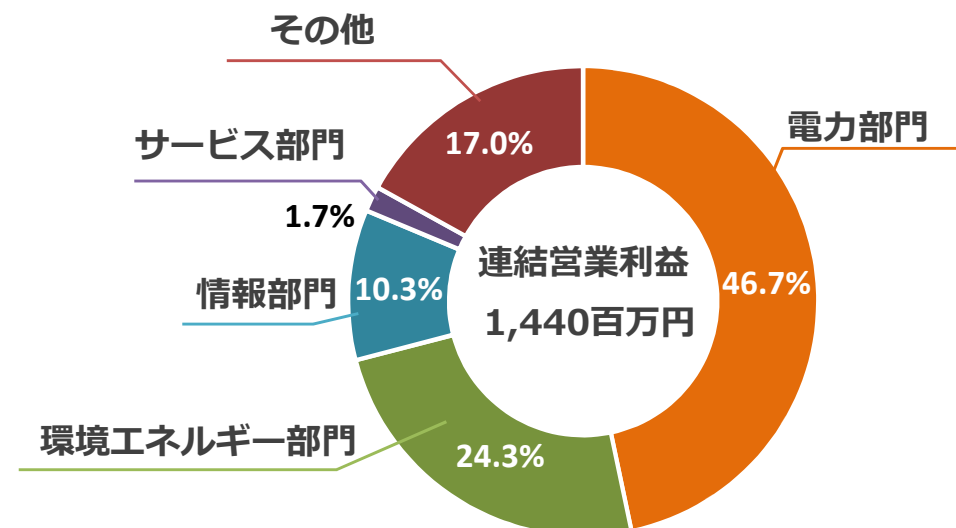
セグメント利益(百万円)



2022年度売上高（部門構成比率）



2022年度営業利益（部門構成比率）



4. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年12月期末	2022年12月期末	増減額
流動資産	16,945	19,365	+2,420
固定資産	8,848	8,689	△158
資産合計	25,793	28,055	+2,262
流動負債	11,252	13,167	+1,914
固定負債	3,600	3,322	△277
負債合計	14,853	16,490	+1,637
純資産合計	10,940	11,565	+625
負債・純資産合計	25,793	28,055	+2,262
自己資本比率	42.4%	41.2%	△1.2%

5. 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2021年12月期	2022年12月期	増減額	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	1,638	△79	△1,717	大型プロジェクトが進み 売上債権が増加したため
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,785	△498	1,286	古賀事業所のリニューアル投資の 支払いが減少したため
財務活動による キャッシュ・フロー	154	1,040	885	運転資金の借入が増加したため
現金及び現金同等物の 期末残高	1,845	2,319	473	—

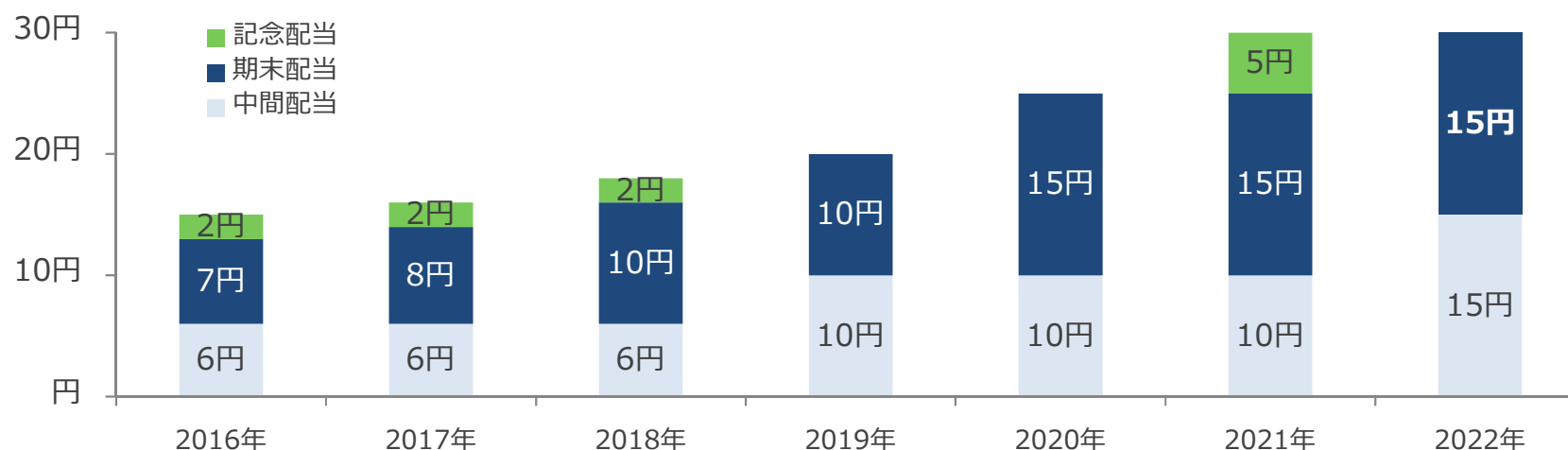
6. 配当について

✓ 期末配当金は、普通配当 **15円**を実施。
中間配当と合わせ、年間配当金は**30円**となる。

配当金	2022年12月期		
	中間配当	期末配当	年間
1株当たりの配当金	15円	15円	30円

効力発生日： 2023年3月14日

(注) 2016年・・・創立95周年記念配当 2円
2017年・・・東証第二部上場記念配当 2円
2018年・・・東証第一部銘柄指定記念配当 2円
2021年・・・創立100周年記念配当 5円

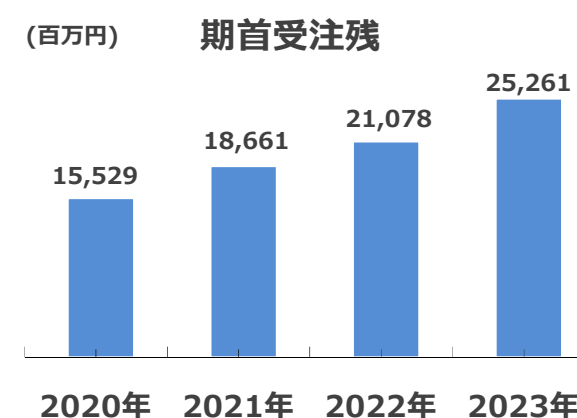
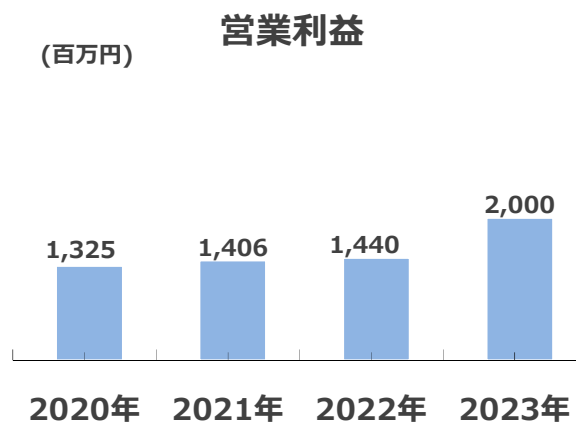
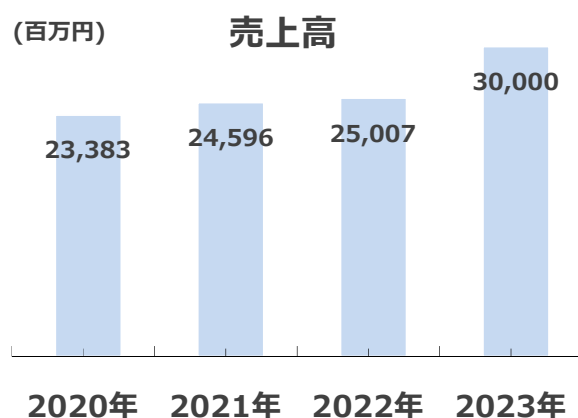


7. 2023年12月期 業績予想

○2023年度 業績予想

単位：百万円

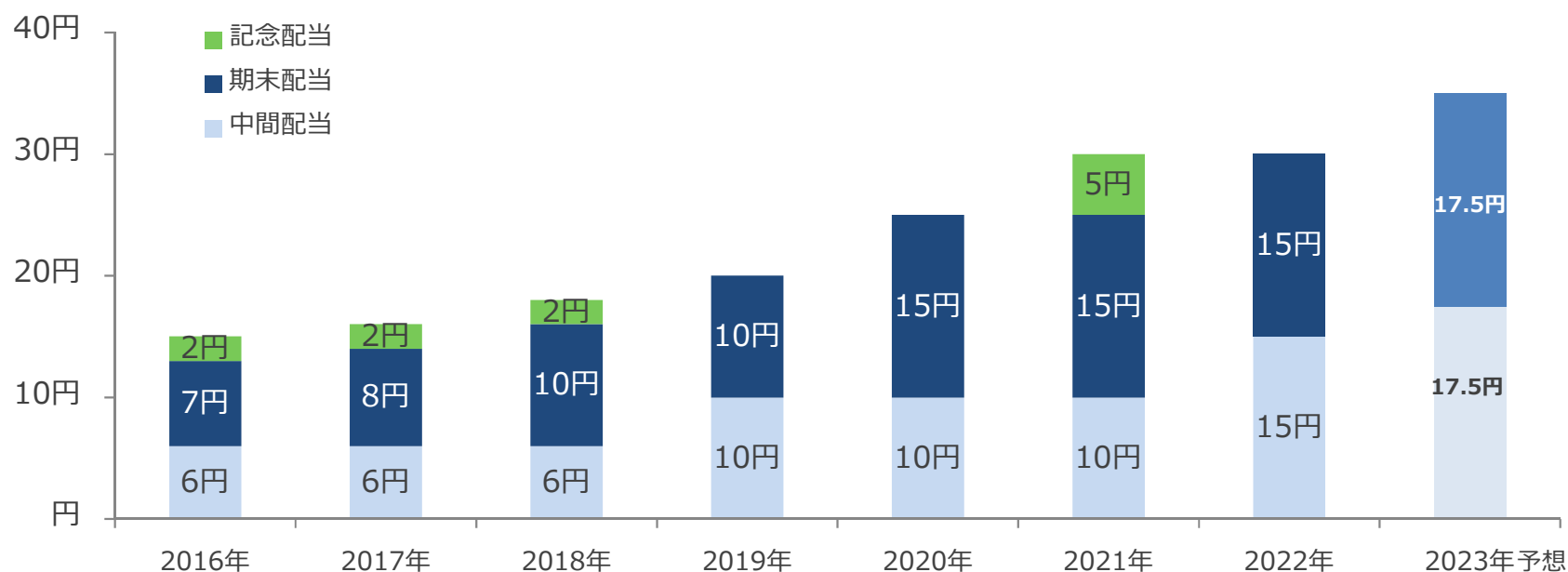
	2022年 12月期	2023年 12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	25,007	30,000	4,993	19.9%
営業利益	1,440	2,000	560	38.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,082	1,370	288	26.6%
期首受注残	21,078	25,261	4,183	19.8%



8. 2023年12月期 配当予想

○配当予想

	2023年12月期		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
1株当たりの配当金	17.5円	17.5円	35円



(注) 2016年・・・創立95周年記念配当 2円
 2017年・・・東証第二部上場記念配当 2円
 2018年・・・東証第一部銘柄指定記念配当 2円
 2021年・・・創立100周年記念配当 5円

(注記)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。

実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

